

校種・教科等	中学校・技術	受審番号		氏名	
--------	--------	------	--	----	--

『技術・家庭科（技術分野）』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年〇月〇日 第3校時(50分)
 (2) 場 所 技術室
 (3) 学年・学級 第1学年5組(30名) 使用教科書 新しい技術・家庭(技術分野) 東京書籍 P38～39

- (4) 題 材 名 「問題を発見し、課題を設定しよう」
 ～身近な生活から問題を発見し、課題を設定する～

- (5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

身の回りの製品には、目的や使用条件に合わせて様々な材料が使われていることや、材料に適した加工方法を選ぶ必要があることを学習している。さらに木材、金属、プラスチックの特性についても学んでおり、材料の特性を生かして製品が作られていることを理解している。

【題材のねらい】

ここでは私たちの身の回りには、様々な問題があることに気づき、その問題を分析し、ものづくりを通して問題解決するため課題を設定することができる。

【生徒の状況】

日常生活で困ることがないため、材料や様々な製品の工夫について考えた経験がない。
 生徒同士の関係性は良好であるが、全体で自分の意見を発表することには抵抗がある。

- (6) 指導計画(全4時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間)	1 身の回りの材料と加工の技術(P20～21) ○身の回りの製品の材料(P20) ○材料の加工(P21)	一斉 個別 班	知識・技能 主体的に学習 に取り組む態 度
第2次 (2時間)	2 木材、金属、プラスチックの特性(P22～29) ○木材の特性 ○金属の特性 ○プラスチックの特性 3 材料に適した加工方法(P30～33) 4 丈夫な製品を作るために(P34～35) 5 材料と加工の技術の工夫を読み取ろう(P36～37)	一斉 個別 班	知識・技能 主体的に学習 に取り組む態 度
第3次 (1時間・本時)	6 問題を発見し、課題を設定しよう [P38～39] ○身近な生活から問題を発見し、課題を設定する	一斉 個別 班	思考・判断・ 表現 主体的に学習 に取り組む態 度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。